



道の駅なみおか アップルヒルから望む桜と岩木山

アップルヒルには、おみやげコーナー、農産物直販コーナー、JAなみおかコーナー、アップルヒル観光りんご園、コンビネーション遊具、レストラン、玄米そば処 道草庵、豆や、こみせ横丁があり、11月に収穫する「サンふじ」を雪中へ埋蔵、春の雪解けとともに掘り出す「雪むろりんご」は、水分も多く甘味も増し、大人気商品です。来春は、ぜひ浪岡へお出でください。

【撮影】平成28年4月30日 つがる地区保護司会 工藤 みどり (元 第5分会所属)

発行：青森地区保護司会
青森市長島1丁目3-25
青森保護観察所内
TEL 017-776-6418
編集：広 報 部

藤田さんのこと



更生保護法人
あすなる 理事長
黒瀧 信行

環境調整で藤田(仮名)さんを担当してから、早や10年の年月が過ぎた。詐欺罪(無銭宿泊)と窃盗罪(軽トラックの拝借乗り捨て)を犯した藤田さんには犯罪後離縁した元妻がいるが、引き取る意思は全く無いということで難航していた。不調のまま2回目の報告書を出す寸前、その元妻と娘さんが突然現れて、引き取りますと申し込みがあった。老人ホームに勤めているというその娘さんは見るからに優しい性格であることがわかった。その娘さんから元奥様が大きいに説教され、元奥様も深く反省してその日に至ったという次第であった。結局元妻の住まいのすぐ近くにアパートを借り食事も出来るだけ一緒に食べるということは無事決着した。以来藤田さんは、毎日小職の住する寺を訪れ、約1時間草取りをして黙って帰って行く日が続いた。当初、当方はやや消極的に扱っ

ていたが、やがて境内がみるみるきれになっていくうちに、藤田さんはすっかり当寺にとつてなくてはならない人となつていったのである。

朝早くから来て、昼食を家族と一緒に食べ、午後3時に帰るといいうサイクルが定着して、文字通り家族同様になった。特に山菜時期には、車で岩木山周辺まで乗せて行き、適当な時間を見計らって迎えに行く、入れ物いっぱい収穫が常であった。奥様へも、と強く言っても決して自分のものとしなかつた。

3年前、その藤田さんが癌に侵されてしまった。入院後かなり遅くなつて、あすなる法話のあと常盤の病院に見舞つた。藤田さんは、娘さんの世話した広い個室で、大きく目を見開き、只々小職を凝視するのみであった。翌朝奥様から電話があり、先日亡くなつた旨の報告があった。夫は和尚さん待っていたんですということであった。藤田さんは、以前あすなるに入所したことがあると聞いたこともあつたか、いま月一回の「あすなる法話」の時、熱心に聞く入所者のなかに、第2の藤田さんを求めている自分がある。

第 66 回 社会を明るくする運動

甲田中学校

【来年度 造道中学校】



講演で生徒に語りかけるサイバー防犯ボランティア・青森公立大学3年



(左から) 小豆畑 地区地域活動部会長
松橋 青森保護観察所長
天内 地区保護司会長

第1部 JUMPチーム活動報告「あいさつ運動の推進について」

第2部 講演 「インターネットトラブルにあわないために」

【講演】 青森県警察本部
保安課サイバー犯罪対策室
サイバー防犯ボランティア
青森公立大学3年
附柳 里佳さん
堀 春奈さん
向井 琴美さん

毎年7月は「社会を明るくする運動」の強調月間で青森地区では、毎年学校との連携事業として会場を管内中学校輪番により開催しています。今年の第66回社明運動は犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラは、青森市甲田中学校を会場に7月13日午後1時20分より、生徒数350名(欠席含)、教職員25名、ほか保護者・地域関係者・保護司を含め約400名の参加者で開催されました。

オープニングでは、毎年「社明運動」に協力した功績で甲田中学校に社明運動青森県推進委員会委員長感謝状を贈呈、その後、伊藤校長に松橋青森保護観察所長が安倍内閣総理大臣メッセージを伝達しました。続いて第1部では、JUMPチーム活動報告「あいさつ運動の推進について」発表、第2部の講演は、サイバー防犯ボランティアの青森公立大学生による「インターネットトラブルにあわないために」と題して進められました。閉会セレモニーでは、お礼の言葉を佐々木生徒会長が、全校合唱では校歌を披露しました。最後に天内青森地区保護司会長の挨拶で閉会となりました。



全校生徒による校歌合唱



内閣総理大臣メッセージを受ける伊藤甲田中学校長



参加した保護司と関係者



のほりで社明運動をアピール

「社会を明るくする運動」に参加して

甲田中学校 生徒の感想文

生徒代表の感想文を
掲載させて頂きました。



1年 三浦 萌加

今日の講演で分かったことが2つあります。1つは、インターネットを使用するときは、十分注意して、さまざまな人に見られることを考えてから投稿、発言することです。そうしないと、トラブルや犯罪に巻き込まれたり、いつのまにか自分が非行をしているということもあるのでは、気をつけようと思いました。

2つ目は、思いやりの心をもつということです。おたがいに思いやれば、犯罪もなく、とても便利で、楽しいコミュニケーションが生まれるので、ちゃんと相手のことを思いやってインターネットを利用しようと思いました。私も、自分のスマートフォンを持っていきます。家では、ちゃんと使うときのルールを決めて使っています。だからこれからも、犯罪にならないか、ちゃんと考えていこうと思います。また、3DSもスマートフォンと同じようなものだから、使うとき気をつけようと思います。今日は、インターネットネットについて深く考えることができたので良かったです。

2年 小田切 智大

社会を明るくする運動の意義は、犯罪をなくしていくことと犯罪を犯した人が、また社会人として立派に更生して働いていくための手助けをする活動だということがわかりました。

第1部では、規律委員の人たちの発表で、挨拶についてわかりました。悪い例の挨拶のような挨拶ではなく、良い例のように、人がいたら立ち止まって挨拶することをこころがけていくことです。そして、相手も自分も気持ちの良い挨拶をしていきたいと改めて感じました。

第2部では、インターネットの怖さを知りました。ネットをつかうときは、今回教えてもらったことに気をつけ利用していき、インターネットトラブルに巻き込まれないように気をつけていきたいです。そのために、設定などの管理に気をつけてトラブルにあわないようにしていきたいです。トラブルからの怖さや大変さを学ぶことができた。便利な反面、使い方をまちがうと、大変な目にあうとつくづく感じました。忘れずにしていきたいです。今回、社会を明るくする運動に参加し、数々のことを学べたので、今後の生活にぜひ、生かしていきたいと思

3年 鳴海 桃子

社会を明るくする運動に参加して、あいさつや心がけは非常に大切なことだと改めて思いました。私たちは学校で1年生のときからあいさつ運動をしていて、やはり気持ちのよいあいさつが返ってくると、とても嬉しくなります。そしてそれが、いじめ防止にもつながると思います。声かけは、元気のない仲間にするので、その子が立ち直るきっかけにもなると思います。

あいさつも声かけも、人と人とのつながりがより一層強くなるので、これからはもっと積極的にしていきたいと思

第2部のインターネットトラブルについての講話では一度ネット上にアップした動画や写真は、その後消したとしても、どんどん拡散されていくと分かり、便利で楽しいものだけれどとても怖いものだと思います。他にもSNSの正しい使い方や未然にトラブルを防ぐ方法なども教えていただいたので、すぐに実行したいです。そして、安全にネットに関わっていききたいと思

第66回 社会を明るくする運動



アウガ&中三デパート前、青森ねぶた祭りでの街頭広報活動

アウガ・中三前 7月16日(土) 青森ねぶた 8月4日(木)

【アウガ・中三前】地区推進委員長の鹿内市長、地区保護司会の地域活動部員を中心に参加しました。【ねぶたに参加】県保護司会連合会と地区保護司会、青森保護観察所が青森ねぶた祭りに参加、横断幕を持ったり、うちわ・社明チラシを配布しました。〈青森市 PTA 連合会ねぶたの協力〉



工夫いっぱい 分会だより

参加されました皆様お疲れ様でした。今後の更なるご活躍を…。

第1分会



【佐藤 光子】

児童自立支援施設見学 で学び親睦会も開催

9月9日、青森県立こども自立センターみらい（青森市横内小学校合子沢教室）の見学を実施しました。児童福祉法に基づく児童自立支援施設です。非行などの問題行動を起こした児童や、家庭環境、その他の環境上の理由により、生活指導を必要とする18歳未満の子どもを預かり、一人ひとりの子どもの課題、特性に応じての必要な指導を行い、自立を支援することを目的とする施設です。恵まれた自然環境や、家庭的雰囲気の中で、職員と子ども達が一体となって、規則正しい生活を送りながら、一日でも早く学校や社会に復帰できるよう生活指導、作業指導を行い、敷地内に設置されている分校で、学校教育を受けています。

子供達は、体育館で、野球大会に向けて、全員で素振りの練習をしていました。指導課長の藤本さんより施設の概要、現状、課題等お話し頂き、全員が高校に合格した事、弘大の学生による学習ボランティアとの関わりが大きな力になった事、寮の食事等がおいしく全員太ってしまう事、マラソンを毎日続け体力を付けている事等々、丁寧な説明を受け案内して頂きました。

その後、「白樺」で、親睦会が開催

催され、会員の親睦を深めました。又、9月16日、サポートセンターあすなろで、青森少年鑑別所職員と、第一分会当番での保護司との面接がありました。雑談の中から、発達障害者が多くなった事、その対応には、特質な事が多く、研修会等で学び、知る事が必要、又、効果的（更生）な対応には、対象者の資質、性格によっての違いはあるが、「父性的」に、「母性的」的にと、関わり方の大切さも学びました。

一連の活動から得られる様々な体験を通して、学ぶ姿勢と、謙虚さを忘れずに持ち続けたいと思います。



第2分会



【塩原 誓子】

横内中学校での「鉄拳とホゴちゃん」 サラちゃん

例年の社明ミニ集会は7月22日（金）横内中学校様の御協力を頂きジャンプチームの皆さんと交流させて頂きました。新井山校長先生始め教職員11名、生徒17名、講師の八甲

田交番秋元所長様、五十嵐企画調整課長が可愛いぬいぐるみ持参で出席して下さい、まずは自己紹介からです。皆始めは少し緊張気味でしたが、それぞれの言葉でしつかりと話してくれました。



これで終わりです。・・・と言ったところで五十嵐課長がまだ居ますよと言います。手作りぬいぐるみのホゴちゃんとサラちゃんを紹介して下さい、お陰で会場がやさしい、和やかな雰囲気になりました。

次には八甲田交番秋元所長様のお話は、警察官の仕事は地域の人々が安心して暮らせるように多岐にわたる業務があり犯人を逮捕することだけではなく「被害者支援」についても話されました。生徒さんには「いじめ万引き等悪いことはしないこと」「思いやりの心を持つこと」等心に残る貴重な助言を頂き、皆の真剣な表情が印象に残りました。今後ともご指導の程をお願い致します。

次の鉄拳さんのパラパラマンガは予想通り大人気でした。ミニ集会は名の通り小さい力ですが続けることで地域に根ざして「おかえり」の花が咲くことを願っています。

第3分会



【伊藤 尚三】

甲田中が社明運動の 県推進委員長より 感謝状受賞

第66回社会を明るくする運動の代表中学校は甲田中となりました。3分会では毎年、甲田中で社明運動を開催していますが、今回は青森地区の主催となり全面的に学校側で企画し実施されました。従来は、学校側の要望に対して3分会が企画し実施してきまし

JUMPチームによる「あいさつ運動の推進について」及び青森県警察本部の「インターネットラブルにあわないために」は生徒達に身近なテーマであり良い発表会だったと思います。

発表に先立ち、社明運動の青森県推進委員長より甲田中へ感謝状が授与されました。

これは10年以上に渡り、7月の社明強化月間中、学校正面の市道に20本以上の



のぼり旗を掲げて地域住民にアピールし、生徒達には「悪いことをしない」をテーマに講話又はビデオ放映を継続して来たことを認められたものです。

学校と地域、そして3分会保護司会がこれからもスクラムを組み、未来ある生徒のために続けたいと思います。



第4分会



【鳴海 峰泰】

社明活動と温泉日帰り旅行を毎年実施して好評

当4分会は青森市西部地区より蓬田村、外ヶ浜町、今別町、までと広範囲に渡って又、会員の数も現在28名と多く皆揃って活動するには大変難しい分会であります。

そんな中、知恵を出し合つての活動となつています。7月の社明強調月間には総理大臣と県知事のメッセージを蓬田村、外ヶ浜町、今別町の担当責任者に趣旨の説明



以前の温泉日帰り旅行

をし伝達、社明旗を役場周辺に掲揚して頂き、また保護司不足のPR、保護司候補者検討協議会委員になつてもらふべき協力要請をし快諾を得ました。

8月20日の「新城まつり」に協賛し主催者に小豆畑副会長よりメッセージ伝達を行い会場周辺に社明旗を掲揚し来場者にはうちわ・ティッシュペーパー・リーフレットを袋づめセットして配布をしています。8月27日には「かかしロード二〇八」(青森く三厩・9月1日〜9月30日迄)にも協賛しシンボルかかし前に社明旗を掲揚し、オープンングセレモニーには、参加会員は社明のタスキかけ来場者に袋づめしたPRセットを配布しています。又会員の親睦と研修を兼ねた温泉日帰り旅行を毎年実施して好評です。新年会も研修を終了後、満令により退任された会員に記念品を贈り和気あいあいで行つていきます。

第5分会



【阿部 哲】

10年目を迎えた高校生の坐禅会は大好評

第5分会(分会長鎌田喜代志・会員数12名)

社会を明るくする運動の取り組みとして、例年3つの取り組みを行っています。のぼり設置事業、7月第3土曜日開催の夜店まつりでの周知事業、浪岡高校生の坐禅事業です。保護司でもある元光寺齊藤住職のご協力の下、同寺で行われている坐禅会は今年で10回目を数え、生徒は、早朝の静粛の中、足の組み方に苦労しながら坐禅を組み、清掃を終えた後、粥を食し、精神修行を行います。保護司は、生徒の送迎、粥の支度と大活躍ですが、最後には記念写真を撮り終了です。生徒からは、良い体験をしたと大好評です。



新任保護司紹介

平成28年9月1日付

保護司の委嘱をうけて



(第4分会)
佐々木 敦子

世相の暗部を支え、光を当てて明るく住みよい街づくり、人づくりに貢献されている保護司を近くて遠い存在として日頃より尊敬いたしておりました。

この度、予期せぬ保護司の推薦を頂き身に余る重責と使命感を深く感じ入っております。

幸いにも私の住む地域には先輩保護司さんなど力強い理解者がおられますので、この方達のご指導をいただき、自ら研鑽を積み重ねて期待に添えるよう頑張りたいと思っております。

昨今の社会現状に目を通せば身の毛もよだつほどの極悪非道にとまどうばかりであります。特に青少年の社会問題は見過ごすことはできないと思っております。「人の性は善なり」と言われております。この基本姿勢をベースに、与えられた任務を果してゆきたいと思っております。

～青森市と函館市の双子都市交流～

青函地区保護司会ツインシティ提携合同研修会

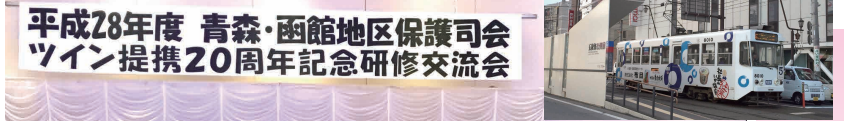
日時 平成 28 年 10 月 12 日 (水)～13 日 (木) 会場 ホテル法華クラブ函館

2 年毎に実施されている青函地区保護司会ツイン提携合同研修会・交流会は、今年度で 20 年目を迎え記念の年となり、10 月 12 日・13 日、函館地区保護司会が幹事となり開催されました。今年度は青森地区からは 26 名(保護司 25 名と青森保護観察所長)、函館地区からは 66 名(保護司 57 名・函館保護観察所 4 名、関係団体・講師 5 名)の参加で初日は、研究協議テーマ「どんな自分も大切な自分」～みんなを活かすプ

平成 8 年から交流が始まる 10 年間は毎年開催その後、隔年に

まとめの講評で古澤所長は、対象者はとても複雑な環境で育ち愛情に恵まれなかった人が多く、面接時にはなるべく褒めてあげること、対象者自身を大切にすること、また保護司同士のコミュニケーションややりがい、相談支援体制も大事ですと締めくくりました。2 日目は、集合時間まで自由行動でそれぞれ散策、帰路はフェリーで保護司同士の意見・情報交換もあり無事青森港に着きました。

1 日セラピー、小岩眞智子氏 函館短期大学付属幼稚園・臨床心理士と「当面の保護司会活動について」古澤函館保護観察所長が話されました。



20 歳を迎えたツイン提携

函館の夜景は、ひとつひとつの光が違っているから美しい。その光の下に、ひとりひとりの幸せがあるから美しい。人々の笑顔は幸せの源 笑顔を支えているのはあなた! 光のまち「函館」にツインシティ「青森」に、人々の笑顔、ひとりひとりの笑顔を増やしましょう! 臨床心理士 小岩 眞智子



小岩眞智子氏



研修の資料より

あなたには、このイラストが何に見えますか?



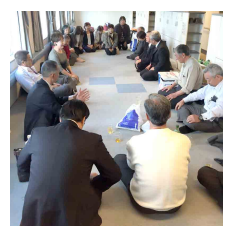
五稜郭タワー



交流会で甚句



吉沢所長



フェリーでの交流会



交流会にて



交流会で合唱

平成 28 年度 県央ブロック保護司研修会

むつ下北地区保護司会 青森地区保護司会 野辺地地区保護司会

野辺地地区

●この研修内容はビデオを撮っていますので、ご覧になりたい方は、青森地区更生保護サポーターセンター・TEL (763) 07633 までご連絡下さい。 (月) 金 9 時から 16 時まで



なぜめぐり逢うのかを 私たちは何も知らない

【中央ブロック研修会】10 月 18 日 (火) 野辺地中央公民館にて開催され、音楽活動家・シンガーソングライター・松尾貴臣氏が「志・命・絆・ハッピー」を届けるトーク&ライブ! 全国 47 都道府県 1600 公演達成! 病院施設に勇気を届ける坂本龍馬と題して講演が行われました。



度 県央ブロック保護司研修会

主催 / 青森地区更生保護女性会
 後援 / 社会を明るくする運動青森地区推進委員会
 日時 / 平成28年7月24日(日)
 開場 / 午前10時 開演 午前11時
 会場 / リンクステーションホール青森

第66回 社会を明るくする運動
 第35回 みんなのつどい

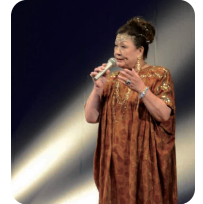
「広げよう非行を防ぐ地域の輪」「ふれあいと対話が築く明るい社会」のテーマの下、
 神和子実行委員長の挨拶のあと、青森地区保護司会、青森市社会福祉協議会、青森県更
 生保護協会、更生保護法人あすなろ、青森地区協力雇用主会、青森地区BBS会、森の
 工房ふれあい、青森県更生保護女性連盟に益金が贈呈されました。



愛をみんなで



春日井バレエ
ダンスギャラリー



須田智子(更女会員)



成田玲子(更女会員)



第3なかよし保育園



宮本美世子他 4名(更女会員)



石川洋子他 4名(更女会員)



工藤京子社中(寿屋)



西 和世 他 11名(三沢地区更女会)



春日井バレエダンスギャラリー



金澤 愛華 他 4名(藤聖母園)



春日井バレエダンスギャラリー



梅田 史江 他 15名(函館西更女会)



函館地区保護司 本田会長



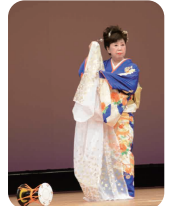
今村 亜輝(賛助会員)



中村 しき子 他 3名(更女会員)



福井 米子 他 2名(更女会員)



大澤ミエ子(更女会員)



工藤 まき子 他 5名(五所川原地区更女会)



佐藤 むつ子 他 10名(平内地区更女会)



**「中世の里なみおか」
の象徴 浪岡城址**

青森空港から浪岡方面に向かうと、五本松地区を過ぎた左手に名門浪岡北畠氏の居城、泉初国史跡浪岡城址が広がります。浪岡城は、東西1200メートル、南北600メートルの敷地を持ち、幅10〜30の二重堀で分けられた8つの館（郭）があり、各館は丘陵を据切るように構築され、東から順に新館、東館、猿樂館、北館、内館、西館、検校館などとなっています。また二重堀の土手が、豆坂街道にもなっていたと言われています。

昭和52年に、内館・北館他一部の発掘調査事業を行い、大量の銭貨・陶器・武具農具が出土し、出土品と共に城主の間や井戸を復元し城址近くの「中世の館」に展示しています。また上級武士の屋敷群があった北館には、発掘調査での柱跡が表面復元



門跡と枅形



16世紀の北館復元図

され、屋敷跡や馬屋跡、従者住居跡を示した区画がされ、岩木山を望みながら往時の通路を歩くのは、中世ロマンを掻き立てられます。

【阿部 哲】

退任にあたって

平成28年8月31日付け

長い間お疲れ様でした。ありがとうございます。

保護司を終えて

元 地区常務理事・第1分会所属

石田 道夫

保護司を拝命して16年間と短い期間でしたが、多くの仲間にも恵まれ充実した期間でした。また後半は、県保護司会連合会と地区の常務理事として役目を頂き、他地区の役員の皆様との出会いや交流など経験させて頂きとても楽しい思い出がたくさんできました。

最初は、保護司の役割に思い悩んでいましたが、対象者が「再起して頑張れる人間に成長してくれる」ことを念頭に置き、じっくり話を聞くことに心がけました。私が担当したある対象者は「子供の頃、いじめにあつて苦しかった。」「父親に常時怒鳴られ、家に帰りたくなかった。」など対象者の背景にある事実をいかに引き出し、共有することができるか、ということが大事なことでありました。

在任中は、色々な指導の中に被害者の気持ちを感じさせられることも大切なことだと痛感しました。皆様ありがとうございました。

「反省」しても「後悔」しないように、人生を過ごすべき

元 第4分会会長 飯田 祥生

平成12年3月、33年間にわたる教職生活で退職してからの保護司にならないうちから話を聞いたとき、平成12年9月1日保護司の拝命を受け、以来16年保護司として働いていました。面接で言い聞かせたことは、「我事に於いて後悔せず」宮本武蔵が「独行道」の中で自戒の言葉として十九条の中の1つである。

自分のやったことについて、後から「やらなければよかった」「間違っていた」などそのたびに後悔していたのでは、いつまでたっても本当の自分に出会えないし、自分が育たない。「論語の中に「吾日三省吾身」(吾日に三たび吾が身を省みる)というのがある。自分のした行為を「反省」しても「後悔」しないように、人生を過ごすべきである」とあることに強調した。

16年間の保護司活動が出来たことは、日常に於ける人との関わりの大切さをもっと実感した貴重な期間となりました。皆さまには、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

（あしがき）

リオのオリンピック、パラリンピックでは、日本の大活躍に感動と喜びに拍手を送った。しかし想定外の台風10号が東北地方を横断した。岩手県、北海道では甚大な被害を受けた。また青森では「いじめ」で、二人の中学生が自殺をし命を絶った。私達人間は助けてあげることが出来なかったのか、痛ましくて悲しい、残念でならない。

私の好きな詩がある。宮沢賢治の「雨にもまけず」この詩を読むと私の身に起きた想定外の出来事や乗り越えようがない気がしている。

「雨にも風にも雪にも暑さにも、まけぬ丈夫な体を持ち、病気の子供が、あれば行って看病し、疲れた母あれば行って手を差し伸べ、慾を持たず、決して怒らず、いつも静かに笑っている、でくのぼうと呼ばれ、褒められもせず、苦にもされず、そういう人には私はなりたくない。」

すでに高齢となり、雨にも風にも雪にも暑さにも、まけそうではあるが老女なりの知恵を絞って、ゆつくり坂道を下って行くかと思っている。

【広報部員 山口 恵美子】